



主題演題について

日本乳癌学会 会員の皆様

第30回日本乳癌学会学術総会が、2022年6月30日(木)～7月2日(土)の日程で開催されます。会場は第29回学術総会と同じパシフィコ横浜ノースです。ホームページは<https://site.convention.co.jp/30jbcs/> をご覧ください。

演題募集期間は2021年12月21日(火)までです。まだ登録されていない先生はぜひご登録ください。

今回の学術総会では、主題演題（シンポジウム、メディカルスタッフセッション、薬剤師セッション）、ディベートセッションは、総会企画委員会（委員長：山内英子先生）が内容及び演者の選定を行います。各領域の専門の先生方が担当となり、重要なテーマを中心に以下の内容で総会にふさわしい企画を準備いただいております。

シンポジウム

- S-1 TN 乳癌の治療戦略・DNA 損傷と腫瘍免疫
- S-2 ゲノム医療の現在と未来－それぞれの役割

S-3 AYA 世代乳がん患者の妊娠と出産 -Next Step -

S-4 次世代につなぐがんサバイバーシップケアの実践と展望

S-5 乳癌画像診断における AI の開発動向について

S-6 多遺伝子アッセイやリキッドバイオプシーなどの新たな技術がもたらす乳癌診療の変化

S-7 臨床研究におけるエンドポイントとしての HRQOL の意義

S-8 革新的医療技術開発の現状

S-9 Beyond BRCA:BRCA の先の乳腺診療における遺伝医療

S-10 乳癌診療における放射線療法の新たな潮流

S-11 次世代の病理診断ーデジタル、AI、ゲノムと病理診断の接点

以上が公募を行うセッションです。

なお、指定演者でのシンポジウムとして、以下を予定しております。

S-12 ER 陽性 HER2 陰性早期乳癌における個別化治療

S-13 HER 陽性乳癌 新たな薬剤の潮流

S-14 免疫チェックポイント阻害薬の光と影

S-15 術前薬物療法後の腋窩のマネージメントについて (インターナショナルビデオセッション)

S-16 乳腺診療における Win-Win の働き方改革

S-17 サブタイプ別・薬剤効果に関わる基礎の最新情報

メディカルスタッフセッションとして以下のテーマで公募を行います。

M-1 乳がん患者のセクシュアリティの問題に対する支援

M-2 乳がん医療における「心」を支えるサポート体制を考える

M-3 多職種連携

薬剤師セッションは以下のテーマで実施いたします。

医師と薬剤師が共同する薬物治療管理～PBPM によるタスクシフト～

いずれも今後の乳癌診療にかかわる最先端のテーマを幅広く取り上げております。メディカルスタッフセッション、薬剤師セッションは医師の方にも聴講いただきたい内容です。多くのシンポジウムでは海外の演者にもご登壇いただきます。いずれも重要なテーマであり、最先端のお話を伺えるものと思います。ぜひご期待ください。

(第 30 回日本乳癌学会学術総会 会長 三好康雄)